



村 松小児童が、古墳探検と火おこしに挑戦！ 「真崎古墳群で古代体験」

11月21日、真崎コミュニティセンターと真崎古墳群を会場に、「真崎の未来を考える会」の方々を講師に迎え、村松小学校の3年生49人が授業の一環として「真崎古墳群で古代体験」を行いました。これは、地域と学校、村が協働で行う事業の1つで、子どもたちは真崎古墳群の探検や火おこし体験を通して自分たちの住む“地域を知る”と同時に、地域の方々と楽しく交流しました。火おこし体験では、「なかなか火がつかない!」「難しい!」という声上がる中、講師に教えてもらい、友達と協力しながら、工夫して取り組む姿が見られました。



イ モゾーと一緒に、ほしいもについて学びました！ 「ほしいもについての勉強会」

12月6日、JA職員の協力のもと、舟石川小学校の3年生がほしいもについての勉強会を行いました。これは、村の特産品であるほしいもの歴史や品種、作り方などを知ること、ほしいものに興味や愛着を持ってもらおうというものです。熱心に話を聞いた子どもたちは、授業後に村内で作られたほしいもを手渡されると、「美味しそう!」「嬉しい!」と大喜びでした。これからも、東海村のほしいものおいしさを味わってくださいね。



東 海中学校が全国大会で第8位入賞！ 「第26回全国中学校駅伝大会」

12月16日に滋賀県野洲市で行われた「第26回全国中学校駅伝大会」で第8位となった東海中男子駅伝チームの皆さんが、12月20日、村長に結果を報告に訪れました。大会では、第2区走者の大内瞬さん(3年)が区間新記録での区間賞を獲得するなど、チームが一つとなり素晴らしい活躍を見せた選手たち。村長から「今後のさらなる活躍を期待している」と激励の言葉を受け、選手一人一人の表情には新たな決意がみなぎっていました。